

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190200354		
法人名	株式会社エフォットケア		
事業所名	グループホーム風		
所在地	佐賀県唐津市呼子町殿ノ浦92-1		
自己評価作成日	令和4年11月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年11月17日	外部評価確定日	令和4年12月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が、明るく穏やかに過ごせる様より添い、安心感をもってもらえる様に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム風」は、同事業所が営む小規模多機能居宅介護事業所に併設されている。事業所開設時に代表者が職員とともに考え作成された理念「目配り・気配り・緊張感」を現在も変更することなく継続し、職員は日々の業務の中で慣れを生じることなく緊張感をもって日々の業務に従事している。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護理念を基に利用者に対するケアのルールを作り、利用者優先の考え方で、支援を行っている。毎月、特に気をつけている。力を入れる意味で目標も設定している。	開設時に作成された介護理念「目配り、気配り、緊張感」が今も継続されている。それをもとにケアのルールが作成されており、日々のケアで実践すべき内容を掲げている。毎朝職員は唱和を行うことで意識付けを図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	努めている。 あいさつ等心掛けていて、つきあいが出来ている。	自治会に加入しており、回覧板も届けられている。コロナ禍で地域の行事は開催されず、積極的な交流はできていないが、散歩などで地域の人と気軽に挨拶をしたり、採れたての新鮮な野菜をいただくこともあり、日常的に交流はできている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナで出来なかったが、コロナでない時は出来ていた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、施設内で行われる運営推進会議で施設の出来事や入居者様の過ごし方等を伝えている。(風だよりの配布) 地域の情報提供や意見を頂きサービスに繋げるよう努めている。	運営推進会議は、隣接する事業所と合同で行われていたが、コロナ禍で感染予防対策として、今年度は10月に家族や、行政、地域役員などの参加で開催されている。運営推進会議は年6回の実施が定められているため、書面交付での開催とされているが、交付のみで意見の聞き取りまでは至っていない。	コロナ禍にて書面交付による開催が多いが、各関係者からの意見が聴取できるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で行政職員と情報や意見の交換が出来る。	運営推進会議以外でも接点があり、医療券の発行依頼や後継人に関する相談など行い、実直に対応してもらえる関係はできている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束」について、事業所内で研修を行い指導も行っている。 日中の玄関施錠は無い。 ブザーは解除している。	入居契約時に指針の説明をおこなっている。 コロナ禍で外部での研修は参加していないが、勉強会の際身体拘束、高齢者虐待と合わせて研修会を行い、研修内容の理解に努めている。現在身体拘束の事例はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に2回、施設内で研修を行い意識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コロナ感染拡大のため、研修もあまりなく参加していない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得された上で契約を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の話をよく聞き、反映している。	毎月の利用料明細を送付する際ホーム便りも同封している。現金払いとしているため、家族が持参された際、日頃の状況を伝え世間話を交えながら、意見や要望を聞き取るよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に毎月の目標、前月の反省、気付き等を全体会議一週間前に提出してもらい、反映出来ている所は反映している。月一回の全体会議、グループホーム会議は行っている。それに限らず申送り等、職員が意見を出せるよう機会を設けている。	勉強会や日頃の会話の中から、職員の意見や要望を聞き、代表者や管理者につなげている。最近職員からの要望で、入浴の負担軽減としてシャワーチェアの手すり付きの購入の要望があったため検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力はしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	努力はしている。 コロナ感染防止の為、研修等参加できていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活環境が変わってしまう為、本人の不安が軽減できるよう工夫に努めている。 又、出来るだけ家族様には、面会に来て頂けるよう声掛けをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人家族様とケアマネジャーが面談をし、要望等の聞き取りを行っている。 サービス前、スタッフに伝え本人家族様とも、良い関係が出来るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限り、対応できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の一員となり、支援出来ている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様と施設共に、本人様を支えて行こうと努めているが、協力的な家族様、丸投げの家族様と様々で差がある。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染予防対策の為、なかなか出来なかったが状況を見て、面会だけはできるようにした。	コロナ感染予防にて面会制限を行い、玄関窓越しで対応している。施設内での電話の取次ぎや携帯電話を持っている入居者もいて、それぞれ家族や馴染みの人とのつながりが途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	基本、好きな様に過ごされている。孤立を防ぐため、日中はフロアへ誘導し入居者同士交流できるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特に約束は無いが契約終了時、施設は相談窓口でもある事を伝えている。外出先で会えば近況などを聞いている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	支援を通じて、希望や意向などを聞けるように努めている。	職員は日々の関わりの中で利用者の思いや意向の把握に努めている。ホール内で寛いでいるときや入浴中など声掛けを行い、思いを聞き取るよう努めている。聞き取った内容は職員で共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス開始前、家族様の聞き取りを行っている。支援の中で新たに分かる事も多い。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申送り等で、当日の状態や特変などが無いかを報告を受け、業務に当たっている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様と本人様の関係者に話を聞き意見を反映し、介護計画を作成している。	ケアプラン作成時に職員より情報を聞き取り、本人家族に意向を確認しケアプランを作成している。日々の経過はパソコンでの入力での日々のケアに活かされている	入居者一人ひとりのファイルはあるが、書類の整理ができていない。職員がプランに沿って確実な支援ができるよう書類の整理に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の様子や気づきを個人記録に記録し、申し送りやノートを活用し、情報を共有している。意見は、その都度検討し、グループホーム会議で話し合い計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1人1人のニーズに出来る限り対応出来る様、サービスの多機能化に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員によって、地域資源の把握に差があり勉強不足。 外出は控えていた。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医受診方法は、家族様の希望が強いが本人様も納得されている。 医療機関と連携を取り、緊急時でも対応出来ている。	かかりつけ医の選択は家族と本人の意向を尊重している。もともと協力医が主治医だった方が多く、月2回の往診を受け、緊急時の対応もできている。他科受診は職員が対応し本人の身体状況を伝え、医療機関との連携を図っている、受診内容は家族にその都度報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	身体の変化や気付きは、看護師に伝え適切な対応を行っており、介護職員にも指示があれば情報の共有を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナ感染防止の為医療機関の面会は出来ないが、医療機関と連絡を取り情報交換を行い、良い関係作りを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	身体機能低下や認知症の進行等、早い段階で家族様や関係者と話し合いをもち、施設で出来る事等の説明をし、ご家族様の相談も聞いている。	入居契約時に看取り指針の説明を行っているが施設内での看取りの経験はない。施設内での体制も整っており、今後希望があれば沿いたいとの思いはある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全てではないが、救急車要請時の対応等研修を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に災害の避難訓練を施行し、消防署からの指導も受けている。 地域の方の参加もあるが、ここ2年コロナ感染防止の為参加してもらっていない。	年2回消防団、施設職員、利用者参加にて、夜間対応を含めた火災訓練を実施している。職員は消火器などの使用方法の訓練も受けている。議事録も記載されており、訓練の様子は「風たより」に記載し家族に送付している。	今後災害などに備え3日分程度の備蓄が必要と思われる期待したい
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応や声掛けは、1人1人違い工夫している。人格尊重、プライバシー保護には特に気を付けている。	一人ひとりの思いを大切にし、日頃から言葉遣いなどに気を付け支援している。個人情報の取り扱いについてはグループホーム便りの写真掲載、居室の名札など家族に承諾を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1人1人、その方に合った表現方法を見つけ、自己決定出来るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るかぎり本人様に沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	保清や身だしなみは気を付けているが、拒否が強い方には、出来ない時も多い。衣類選びや部屋に飾る物など出来る方は一緒に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な野菜の皮むきや、洗った食器を拭くなど、本人様の個々の機能を活かしている。嚥下状態などで、食事の形状を変える時も食べやすさや見た目も楽しめる様に工夫している。入居者様皆、殆ど残される事はない。食事は楽しみにされていると思われる。	毎日の食事の献立は決まっておらず、調理担当者が、冷蔵庫内の食材や近所からいただいた野菜などで考え調理している。入居者に希望をきいて調理することもある。食事が進まない方には状況を見ながら高カロリーの栄養補助食品など提供している。入居者の誕生日は手作りのケーキを用意し、提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の状態に応じて対応している。水分も確保している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が付添いケアを施行。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見て、排泄の声掛け、本人様1人でのトイレの排泄を見守り、出来ない部分を支援している。	職員は排泄チェック表で把握し、排泄誘導を行い排泄の自立支援に努めている。日中に限らず夜間もできるだけトイレでの排泄を支援している。入居後のケアで紙パンツから布パンツに改善した利用者もいて、経済的負担の軽減にもつながっている。便座周りは手すりや可動式ひじ掛けが設置され、安全に排泄ができる補助具となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、食事、水分摂取等便秘にならない様に取り組んでいるが、なった時は、医師看護師の指示で服薬により調節している。便の状況などを見て支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様全員の希望やタイミングは難しい。入浴拒否が強い方の清保のため、本人様のタイミングに合わせ、声掛けをし、お風呂に入ってもいいかなあと考えて貰えるような事など工夫している。	浴室は週4日間準備し、予定表は作成せず、その時の状況に応じて週2回の入浴を支援している。入浴拒否があれば、無理強いせず次回に変更するなど、本人の意向に沿って支援している。毎日入浴剤を用いて入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限り、支援は行っている。看護師にも相談している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理し、指示している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コミュニケーションの中で、趣味、嗜好を聞き楽しめるような時間をつくれるようレクリエーションを行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの状況を見て、近くの公園へ散歩、ドライブ等外出している。 地域の行事には参加出来ない。	コロナ禍で外出が制限され、ドライブや花見など積極的な外出はできなかったが、天気の良い日は散歩に出かけ外出している。また週1回の移動スーパーが施設前まで来るため、自分で好きなお菓子などの購入を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動スーパーでの買い物はしている。 お金の理解が出来ない方が多く、又お金に強い執着がある方もいるため、現金の取り扱いには職員が行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で電話をもってある方には、支援している。 手紙は、希望に沿っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、明るく過ごしやすいよう環境作りに努めている。 季節感を感じることが出来る様、月ごとに壁面に飾りを行っている。	日中過ごすホールは天井が高く窓からの日差しで明るい。ソファやテーブルで入居者は思い思いに過ごしている。開設時に施設周囲に捨てられていた猫2匹を施設で飼い、普段はゲージの中で飼われているが、猫好きの入居者と触れ合う機会もある。ホールには加湿器が設置され、感染予防のため窓を定期的に関開換気も行い、消毒も行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は、1人部屋。 1人で過ごせる部屋で自立を促し、数人で座れるイス、全員で集まれる場所がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族様と施設で話し合い、本人様好みの物や使い慣れた物を、出来る限り置けるようにしている。 安心できる環境作りに努めている。	施設で準備しているベット以外は持ち込みの制限はしていない。寝具、衣装ケースなど持参されている。コロナ禍前は家族と一緒にいた衣類の整理も、今は職員と一緒にしている。居室の掃除は職員で行い、清潔に保たれている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の部屋が分かる様に、居室の扉に名前を付けている。 車イス自走の方が、安全に移動できるように動線を確保している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)		1. 毎日ある
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない